

第 159 回 日本循環器学会東北地方会

プログラム

会期：平成 26 年 12 月 6 日（土）午前 8 時 30 分より

会場：仙台国際センター

仙台市青葉区青葉山 TEL:022-265-2211（代表）

第 1 会場：橋（2F）

第 2 会場：萩（2F）

第 3 会場：白檀 1（3F）

第 4 会場：白檀 2（3F）

会 長 竹 石 恭 知

事務局：福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

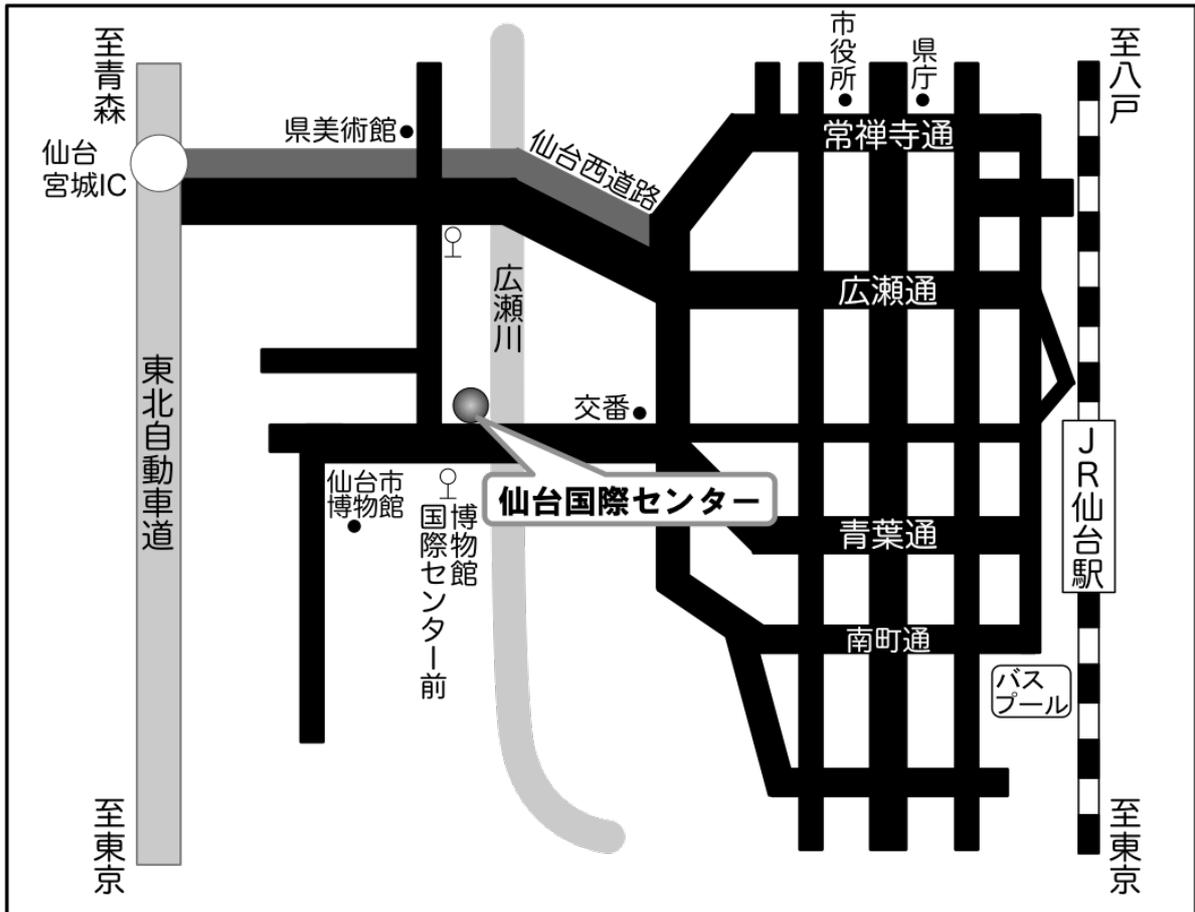
福島市光が丘 1 番地

TEL: 024(547)1190 FAX: 024(548)1821

- 当日受付にて参加費のお支払いをお願い致します。
(医師/その他 3,000 円、コメディカル 1,000 円、学生/初期研修医 無料)
- 一般演題：発表時間は 5 分（予鈴 4 分）、追加討論 2 分、YIA の発表時間は 7 分（予鈴 6 分）、追加討論 3 分とします。時間厳守をお願いします。
 - ・ コンピュータープレゼンテーションによる発表のみとします。
Windows 版 Power Point2007、2010、2013 で作成して下さい。
 - ・ 動画は使用できません。
 - ・ Macintosh 及び持ち込み PC での発表はできません。
 - ・ 発表 30 分前までに作成したデータを USB メモリーにいれて PC 受付にお持ち下さい。
 - ・ データのファイル名には演題番号（半角）に続けて発表者の氏名（漢字）を必ず付けて下さい。（例：10 仙台太郎. ppt）。
 - ・ 不測の事態に備えて必ずバックアップデータをお持ち下さい。
*35mm スライドによる発表はできません。
- 学術集会（5 単位）、教育セッション（3 単位）とします。
- DVD セッション「医療安全・医療倫理に関する講演会」を「1F 小会議室 1」で行います。
専門医認定更新に必修の 2 単位が取得できます。（P 21 参照）

追記：学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。

会場へのアクセス



会場：仙台国際センター 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山
TEL:022-265-2211 FAX:022-265-2485

仙台国際センターまでの交通機関

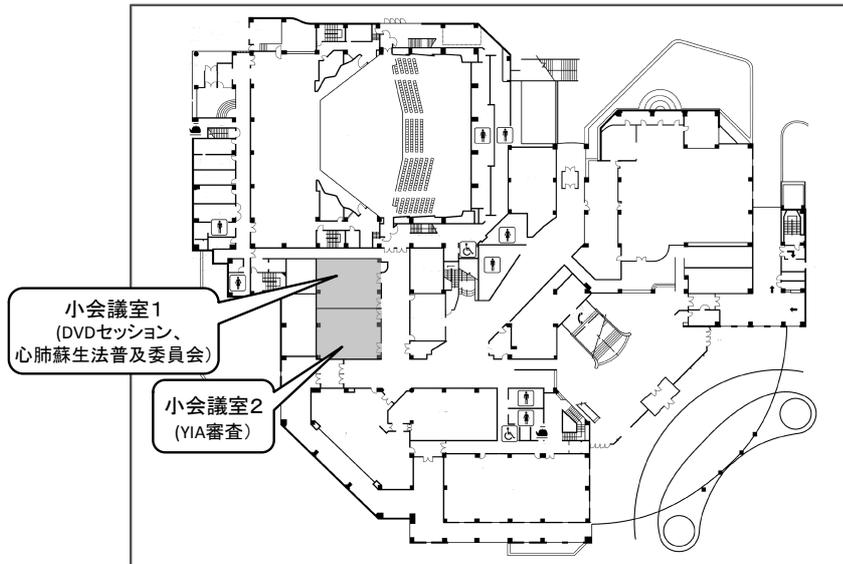
バス 乗 車：仙台駅西口バスプール9番乗り場より
710「宮教大・青葉台」
713「宮教大・成田山」
715「宮教大」
719「動物公園循環（青葉通・工学部経由）」
720「交通公園・川内営業所」
のいずれかにお乗り下さい。
降 車：「博物館国際センター前」でお降り下さい。
所要時間：約10分（運賃180円）

タクシー 仙台駅より所要 約7分

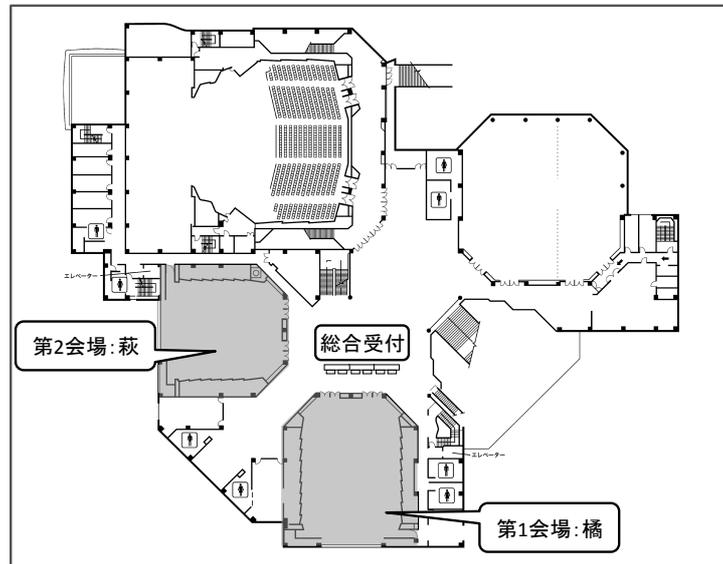
自家用車 東北自動車道仙台宮城I.C.から所要 約10分
(仙台西道路経由：「仙台城」方面の標識に従ってご走行下さい)

会場案内図 (受付は2Fです)

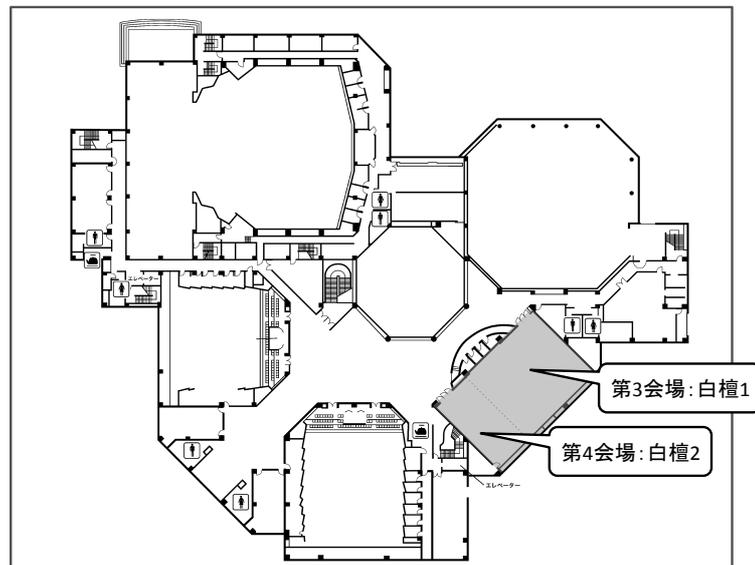
1階



2階



3階



プログラム (敬称略)

	第1会場 (2F 橋)	第2会場 (2F 萩)	第3会場 (3F 白檀1)	第4会場 (3F 白檀2)	小会議室1 (1F)	小会議室2 (1F)
8:30	8:30 受付開始					
	8:55~9:00開会挨拶 会長 竹石 恭知 (福島県立医科大学)					
9:00	9:00~9:50 YIA症例発表部門 座長 竹石 恭知 (福島県立医科大学)	9:00~9:42 不整脈I 座長 武田 寛人 (太田西ノ内病院)	9:00~9:42 虚血性心疾患I 座長 伊藤 健太 (東北大学)	9:00~9:42 弁膜症 座長 渡部 朋幸 (医療生協わたり病院)	9:00~10:30 DVDセッション	
					「医療安全・医療倫理に関する講演会」	
10:00	9:50~10:40 YIA研究発表部門 座長 竹石 恭知 (福島県立医科大学)	9:42~10:24 不整脈II 座長 寺田 健 (秋田県成人病医療センター)	9:42~10:17 虚血性心疾患II 座長 渡邊 哲 (山形大学)	9:42~10:17 弁膜症・心膜疾患・心内膜炎 座長 矢作 浩一 (大崎市民病院)		
	10:40~11:15 心不全 座長 高橋 徹 (岩手県立中央病院)	10:24~10:59 不整脈III 座長 八木 哲夫 (仙台市立病院)	10:17~10:52 虚血性心疾患III 座長 清野 義胤 (星総合病院)	10:20~11:50 男女共同参画フォーラム		10:40~11:15 YIA審査 集計(10:40~11:00) 審査会(11:00~11:15)
11:00	11:15~11:57 大動脈・末梢血管 座長 高橋 皇基 (太田西ノ内病院)	10:59~11:41 心筋症・その他 座長 佐藤 雅彦 (公立相馬総合病院)	10:52~11:27 肺・先天性疾患 座長 杉村 宏一郎 (東北大学)	座長 富岡 智子 (みやぎ県南中核病院)		
			11:27~12:02 心筋炎・心筋症 座長 松井 幹之 (山形県立中央病院)		11:30~11:40 心肺蘇生法普及委員会	
12:00						
	12:10~12:40 総会・YIA授賞式					
13:00	12:50~13:50 教育セッションI ランチョンセミナー1 河盛 隆造 順天堂大学大学院 医学研究科 スポーツロジセンター 座長 下川 宏明 (東北大学)	12:50~13:50 教育セッションII ランチョンセミナー2 住友 直方 埼玉医科大学 国際医療センター 座長 久保田 功 (山形大学)				
14:00	13:50~14:50 教育セッションIII 特別講演 大津 欣也 Cardiovascular Division, King's College London, The James Black Centre 座長 竹石恭知 (福島県立医科大学)					
14:50						

YIA 症例発表部門 (第1会場) 9:00~9:50 (五十音順)

座長 竹石 恭知

01 典型的な拡張相肥大型心筋症の表現型を示したミトコンドリア遺伝子異常症の一例

秋田大学 大学院医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学

○梅田 有理、寺田 茂則、細谷 知樹
寺田 舞、飯野 健二、渡邊 博之
伊藤 宏
鬼平 聡
林 丈晴、木村 彰方

きびら内科クリニック

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態分野

02 肺静脈閉塞を認めた強皮症肺高血圧の一症例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

○大和田卓史、杉本 浩一、及川 雅啓
国井 浩行、中里 和彦、鈴木 均
斎藤 修一、竹石 恭知

福島県立医科大学 心臓病先進治療学講座 義久 精臣

福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科学講座

小林 浩子

福島県立医科大学 病理病態診断学講座 橋本 優子

03 冠静脈内からの心外膜アブレーションに Contact force が有効だった心室頻拍の一例

山形大学医学部 第一内科

○熊谷 遊、有本 貴範、岩山 忠輝
橋本 直明、石垣 大輔、山浦 玄斎
安藤 薫、大瀧陽一郎、和根崎真大
佐々木真太郎、西山 悟史、高橋 大
穴戸 哲郎、宮本 卓也、渡邊 哲
久保田 功

日本海総合病院 循環器内科

青山医院

本田晋太郎、菅原 重生

青山 浩

04 失神を繰り返した心抑制型血管迷走神経性失神に自律神経節アブレーションが奏功した若年女性例

東北大学 循環器内科学

○佐竹 洋之、福田 浩二、中野 誠
近藤 正輝、平野 道基、瀬川 将人
下川 宏明
山城 荒平

豊橋ハートセンター 循環器内科

05 着用型自動除細動器が有用であった心筋梗塞・心不全の1例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科学講座

○小路 祥紘、澁谷 修司、米倉 学
妹尾麻衣子、大矢 史恵、泉山 圭
横山 公章、山田 雅大、阿部 直樹
富田 泰史、樋熊 拓未、佐々木真吾
長内 智宏、奥村 謙

YIA 研究発表部門 (第1会場) 9:50~10:40 (五十音順)

座長 竹石 恭知

- 06 血管内超音波法と光干渉断層法の併用による病態別虚血性心疾患患者責任病変の評価
星総合病院 循環器内科 ○安藤 卓也、三浦 英介、國分 知樹
清水 康博、松井 佑子、金子 博智
坂本 圭司、氏家 勇一、清野 義胤
木島 幹博、丸山 幸夫
- 07 糖尿病における心血管疾患発症リスクへの寄与：血圧の重要性
岩手医科大学医学部 内科学講座 循環器内科分野
○古味 良亮、森野 禎浩
岩手医科大学医学部 衛生学公衆衛生学講座
大澤 正樹、小野田敏行、丹野 高三
坂田 清美
岩手医科大学医学部 脳神経外科学講座 小笠原邦昭
生活習慣病予防研究センター 岡山 明
岩手医科大学医学部 内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野
田中 文隆、蒔田 真司、中村 元行
- 08 アナフィラキシーショックに伴う狭心症の頻度とそのリスク因子
独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科
○高橋 佳美、笠原信太郎、藤田 央
山口 展寛、尾上 紀子、石塚 豪
篠崎 毅
- 09 心不全患者における peripheral artery disease の検討
福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
○中村 裕一、義久 精臣、杉本 浩一
八巻 尚洋、国井 浩行、中里 和彦
鈴木 均、斎藤 修一、竹石 恭知
- 10 慢性血栓塞栓性肺高血圧症における血小板活性化と線溶能低下の関与
東北大学 循環器内科学 ○矢尾板信裕、杉村宏一郎、佐藤 公雄
後岡広太郎、三浦 正暢、青木 竜男
建部 俊介、山本 沙織、下川 宏明
久留米大学 心臓血管内科 福本 義弘
東北大学 加齢医学研究所 基礎加齢分野 堀内 久徳

第1会場

心不全 (10:40~11:15)

座長 高橋 徹

11 心室頻拍を繰り返した左室緻密化障害(LVNC)による重症心不全の一例

東北大学病院卒後研修センター ○星 陽介、加賀谷 豊
東北大学 循環器内科学 鈴木 秀明、青木 竜男、羽尾 清貴
杉村宏一郎、高橋 潤、下川 宏明
東北大学病院 病院高度救命救急センター 佐藤 哲哉、藤田 基生、久志本成樹

12 心不全治療経過中に多発血栓症を発症し、外科的血栓除去術を要した左房内血栓症の一例

仙台市医療センター 仙台オープン病院 循環器内科
○須田 彬、瀧井 暢、佐治 賢哉
杉江 正、浪打 成人、加藤 敦

13 Torsades de pointes を発症した心不全の管理にトルバプタンが有効だった一例

秋田厚生医療センター ○加藤 宗、庄司 亮、阿部 元
松岡 悟、田村 芳一、齊藤 崇
秋田大学 大学院医学研究科 循環器内科学・呼吸器内科学
伊藤 宏

14 乳癌術後化学療法中に心不全を発症し、両心室内に血栓を疑う腫瘤を認め、新規経口抗凝固薬にて治療した一例

山形県立中央病院 ○山口 祐樹、菊地 翼、天水 宏和
井汲 陽祐、渡部 賢、大道寺飛雄馬
加藤 重彦、高橋 克明、玉田 芳明
福井 昭男、矢作 友保、松井 幹之
後藤 敏和

15 左室収縮能が保たれた心不全患者における予後の性差について-CHART-2 研究より-

東北大学 循環器内科学 ○辻 薫菜子、坂田 泰彦、三浦 正暢
宮田 敏、後岡広太郎、但木壮一郎
牛込 亮一、山内 毅、佐藤謙二郎
小野瀬剛生、阿部 瑠璃、高橋 潤
下川 宏明

第1会場

大動脈・末梢血管 (11:15~11:57)

座長 高橋 皇基

16 Valsalva 洞限局急性大動脈解離が左主幹部を巻き込み急性冠症候群を併発した一例

山形大学医学部 第一内科

○安藤 薫、宮本 卓也、熊谷 遊
橋本 直明、石垣 大輔、山浦 玄斎
大瀧陽一郎、和根崎真大、舟山 哲
佐々木真太郎、岩山 忠輝、西山 悟史
有本 貴範、高橋 大、穴戸 哲郎
渡邊 哲、久保田 功

17 大動脈基部拡大から診断されたターナー症候群の1手術例

岩手県立中央病院 心臓血管外科

○松尾 諭志、小田 克彦、鷹谷 紘樹
吉岡 一郎、長嶺 進

18 急性大動脈解離にて入院後、冠攣縮性狭心症を発症した一例

市立秋田総合病院 循環器科

○木村 友昌、柴原 徹、池田 研
藤原 敏弥、中川 正康

きびら内科クリニック

鬼平 聡

秋田大学 大学院医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学

伊藤 宏

19 動脈硬化の著しい弓部大動脈瘤に対して、J graft OPEN STENT GRAFT を用いた全弓部置換術の一例

会津竹田総合病院

○齋藤 正博、川島 大

20 血管内超音波検査が診断に有用だった左膝窩動脈外膜嚢腫に対して、自家静脈グラフト置換術を施行した一例

公立置賜総合病院

○新関 武史、鈴木 智隆、石野 光則
北原 辰郎、山内 聡、池野栄一郎

山形大学医学部 第二外科

山下 淳、貞弘 光章

山形大学医学部 病理診断学講座

樺澤 崇允、山川 光徳

山形大学医学部 第一内科

久保田 功

21 左上腕動脈閉塞病変に経皮的動脈形成術を施行した IgG4 関連疾患の一例

山形県立中央病院

○渡部 賢、福井 昭男、天水 宏和
井汲 陽祐、菊地 翼、大道寺飛雄馬
加藤 重彦、高橋 克明、玉田 芳明
松井 幹之、矢作 友保、後藤 敏和

第2会場
不整脈Ⅰ (9:00~9:42)

座長 武田 寛人

- 22 右房分界稜起源心房頻拍により頻拍誘発性心筋症を呈した一例
東北大学 循環器内科学 ○近藤 正輝、福田 浩二、中野 誠
佐竹 洋之、瀬川 将人、平野 道基
下川 宏明
- 23 糖尿病性腎症に合併した左房前壁天井側に存在する癒痕を旋回した心房頻拍の一例
福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
○肱岡奈保子、上岡 正志、金城 貴士
神山 美之、小林 淳、中里 和彦
鈴木 均、斎藤 修一、竹石 恭知
- 24 下垂体腫瘍摘出術の全身麻酔導入後に副腎不全を発症し心停止に至った一例
国立病院機構仙台医療センター ○笠原信太郎、藤田 央、山口 展寛
尾上 紀子、石塚 豪、篠崎 毅
- 25 左脚前枝領域 ILVT と左室後壁ケント束への RFCA 施行、3 日後に完全房室ブロックとなつた1例
大崎市民病院 循環器内科 ○岩淵 薫、高橋 望、及川 卓也
佐藤 雅之、深澤恭之朗、矢作 浩一、
竹内 雅治、平本 哲也
いわき市立総合磐城共立病院 循環器内科 戸田 直、長谷部雄飛
- 26 左脚脚枝近位部から出現した 2 種類の心室性期外収縮に対しアブレーションが奏功した一例
仙台市立病院 循環器内科 ○佐藤 英二、八木 哲夫、石田 明彦
三引 義明、山科 順裕、佐藤 弘和
中川 孝、小松 寿里、滑川 明男
- 27 Prepotential を指標にしたアブレーションにより根治した陳旧性心筋梗塞、頻発性心室期外収縮の一例
仙台市立病院 循環器内科 ○小松 寿里、石田 明彦、滑川 明男
三引 義明、山科 順裕、佐藤 弘和
中川 孝、佐藤 英二、八木 哲夫

第2会場 不整脈Ⅱ (9:42~10:24)

座長 寺田 健

- 28 難治性心室頻拍に対し経心房中隔アプローチによるアブレーションが有用であった高齢肥大型心筋症の一例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科学講座

○成田 真人、堀内 大輔、金城 貴彦
伊藤 太平、佐々木憲一、木村 正臣
佐々木真吾、奥村 謙

- 29 経心房中隔アプローチが有効だった大動脈弁置換および僧帽弁形成術後の流出路起源心室頻拍の1例

いわき市立総合磐城共立病院 循環器内科

○長谷部雄飛、戸田 直、野木 正道
江口久美子、二瓶 太郎、埜 健一郎
高木 祐介、湊谷 豊、山本 義人
杉 正文

- 30 左室後壁の瘤形成が関与すると考えられた頻脈性心室性不整脈の2症例

福島県立医科大学会津医療センター循環器内科

○星野 弘尊、鶴谷 善夫、玉川 和亮

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

金城 貴士、鈴木 均、竹石 恭知

- 31 5F アブレーションカテーテルが有効だった CRT-D 植え込み後の心外膜起源心室頻拍の1例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

○野寺 穰、神山 美之、大和田卓史
阿部 諭史、上岡 正志、金城 貴士
国井 浩行、鈴木 均、斎藤 修一
竹石 恭知

- 32 心外膜側起源の心室頻拍が疑われたが、心内膜側からの焼灼が有効であった心サルコイドーシスの一例

弘前大学医学部 循環呼吸腎臓内科学講座

○妹尾麻衣子、堀内 大輔、金城 貴彦
伊藤 太平、佐々木憲一、木村 正臣
佐々木真吾、奥村 謙

- 33 心室細動発作を反復する Brugada 症候群症例に対し、カテーテルアブレーションが有効であった一例

東北大学 循環器内科学

○中野 誠、福田 浩二、近藤 正輝
佐竹 洋之、瀬川 将人、平野 道基
千葉 貴彦、下川 宏明

第2会場
不整脈Ⅲ (10:24~10:59)

座長 八木 哲夫

34 虚血性心疾患に対して着用型自動除細動器 (WCD) を使用した一例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

○松本 善幸、八巻 尚洋、鈴木 聡
及川 雅啓、鈴木 均、齋藤 修一
竹石 恭知

35 心室頻拍が上室性頻拍と誤認識され抗頻拍ペーシング治療が行われなかった ICD 植込み患者の1例

秋田県成人病医療センター 循環器科 ○田代 晴生、寺田 健、阿部 芳久
小武海雄介、佐藤 匡也、門脇 謙
秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学
伊藤 宏

36 循環器クリニックにおける施設設置型遠隔モニタリング(ケアリンク・エクスプレス)を用いたペースメーカー管理

若山医院 内科・循環器内科 ○若山 裕司
東北労災病院 循環器内科 加藤 浩
東北大学 循環器内科学 福田 浩二、下川 宏明

37 遷延性意識障害を生じた高齢患者の原因精査に長時間ホルター心電図が有用であった一例

岩手県立中央病院循環器科

○高橋 慧、遠藤 秀晃、大浦 翔子
門間 雄斗、神津 克也、池田 尚平
野田 一樹、中嶋 壮太、高橋 徹
中村 明浩、野崎 英二

38 偽性アルドステロン症により多形性心室頻拍を発症した一症例

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座

○君島 勇輔、杉本 浩一、金城 貴士
坂本 信雄、鈴木 均、齋藤 修一
竹石 恭知
柘記念病院 循環器科 比佐 新一

第2会場

心筋症・その他 (10:59~11:41)

座長 佐藤 雅彦

39 pacing rate の設定変更により心不全の改善を認めた心アミロイドーシスの1例

山形県酒田市病院機構 日本海総合病院 循環器内科

○後藤 準、近江 晃樹、豊島 拓
本田晋太郎、禰津 俊介、菊地 彰洋
桐林 伸幸、菅原 重生

40 心室頻拍と房室ブロックで発症した心サルコイドーシス臨床診断群の一例

東北大学 循環器内科学

○瀬川 将人、福田 浩二、中野 誠
近藤 正輝、佐竹 洋之、平野 道基
下川 宏明

41 在宅訪問患者の予後に対する心疾患既往の影響

医療法人 社団 仁明会 齋藤病院 ○盛田 真樹

42 心血管疾患患者における東日本大震災後の心的外傷後ストレス障害とその予後に及ぼす影響-CHART-2 研究から-

東北大学 循環器内科学

○小野瀬剛生、坂田 泰彦、三浦 正暢
但木壮一郎、牛込 亮一、山内 毅
佐藤謙二郎、辻 薫菜子、後岡広太郎
高橋 潤、下川 宏明
宮田 敏

東北大学 循環器 EBM 開発学

43 HIT 抗体が陰性であったヘパリン起因性血小板減少症の一例

竹田総合病院 循環器内科

○野沢 永貴、伊藤 智志、越膳 航平
佐藤 真美、清田 寛

44 進行性の腎機能障害を伴った機能的片腎の腎動脈狭窄に対して経皮的腎動脈形成術が有効であった2症例

太田総合病院附属太田西ノ内病院

○神 雄一朗、小松 宣夫、渡邊 俊介
金澤 晃子、石田 悟朗、遠藤 教子
新妻 健夫、武田 寛人

第3会場

虚血性心疾患 I (9:00~9:42)

座長 伊藤 健太

- 45 完全内臓逆位の慢性完全閉塞を含む2枝病変に対してPCIを施行した1例

気仙沼市立病院 循環器科 ○工藤 信隆、尾形 和則
仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科
井筒 大人

- 46 ステンント留置8年後に発症した左冠動脈主幹部の超遅発性ステント血栓症の一例

石巻赤十字病院 ○須貝 孝幸、小山 容、土屋 隼人
長谷川寛真、玉淵 智昭、祐川 博康

- 47 くも膜下出血を合併した急性心筋梗塞による心肺停止の1救命例

仙台市立病院 循環器内科 ○松本諒太郎、中川 孝、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、佐藤 英二、小松 寿里
八木 哲夫

- 48 ステロイド補充開始後に冠攣縮性狭心症発作を認めたACTH単独欠損症の一例

東北大学 循環器内科学 ○小松 真恭、西宮 健介、高橋 潤
圓谷 隆治、二瓶 太郎、羽尾 清貴
松本 泰治、伊藤 健太、坂田 泰彦
下川 宏明

- 49 冠攣縮性狭心症を合併した肥大型心筋症の一例

東北大学 循環器内科学 ○金 沙織、羽尾 清貴、大山 宗馬
高橋 潤、西宮 健介、圓谷 隆治
松本 泰治、伊藤 健太、坂田 泰彦
下川 宏明

- 50 器質的冠動脈狭窄を有する患者において慢性閉塞性肺疾患の併存は急性冠症候群の発症を促進する

宮城県立循環器呼吸器病センター 循環器科 ○小丸 達也
東北労災病院 循環器内科 加藤 浩、高橋 務子
仙台オープン病院 循環器内科 佐治 賢哉

第3会場

虚血性心疾患Ⅱ (9:42~10:17)

座長 渡邊 哲

51 けいれん発作を合併した冠攣縮性狭心症の1例

国立病院機構仙台医療センター 循環器内科

○志鎌 拓、山口 展寛、笠原信太郎
藤田 央、尾上 紀子、石塚 豪
篠崎 毅

52 巨大冠動脈瘤に生じた急性心筋梗塞の一例

仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科

○上村 直、菊地 雄一、櫻井 美恵
井上 直人、大友 達志、滝澤 要
本多 卓、鈴木 健之、多田 憲生
伊澤 毅、堀江 和紀、目黒泰一郎

53 非薬剤溶出性ステント（BMS）留置後の仮性冠動脈瘤に対するPCI治療経験

米沢三友堂病院

○伊藤 真輝、川島 理、阿部 秀樹

54 冠動脈慢性完全閉塞病変に対して真腔および偽腔に留置された薬剤溶出性ステントの中長期成績の比較

星総合病院 循環器内科

○氏家 勇一、國分 知樹、清水 康博
松井 佑子、金子 博智、坂本 圭司
三浦 英介、清野 義胤、木島 幹博
丸山 幸夫

55 左主幹部心筋梗塞後出血性潰瘍を併発し治療に難渋した一例

公立相馬総合病院 循環器内科

公立相馬総合病院 消化器内科

○福永 久典、佐藤 雅彦、安藤 勝也
川島 一公

第3会場

虚血性心疾患Ⅲ (10:17~10:52)

座長 清野 義胤

56 全身性エリテマトーセスによる冠動脈拡張により生じた急性冠症候群の一例

東北大学 循環器内科学

○中嶋 優太、圓谷 隆治、西宮 健介
羽尾 清貴、松本 泰治、高橋 潤
伊藤 健太、下川 宏明

57 右冠動脈円錐枝のステント閉塞により心室細動を発症した1例

仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科

○遠田 佑介、多田 憲生、櫻井 美恵
田中綾紀子、南條 光晴、井筒 大人
桑原 謙典、石原 龍馬、加畑 充
茂井 宣任、松本 崇、堀江 和紀
伊澤 毅、上村 直、清水 岳久
鈴木 健之、本多 卓、滝澤 要
大友 達志、井上 直人、目黒泰一郎

58 急性大動脈解離に冠攣縮性狭心症を合併した2例

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

○兼古 恭輔、伊藤 智範、石田 大
房崎 哲也、阪本 亮平、下田 祐大
小室堅太郎、中島 悟史、高橋 祐司
松本 裕樹、中島 祥文、工藤 顕仁
松下 尚子、中村 元行、森野 禎浩

59 左冠動脈前下行枝病変における血管内画像所見による炎症と脂質評価の可能性に関する検討

星総合病院 循環器内科

○安藤 卓也、三浦 英介、國分 知樹
清水 康博、松井 佑子、金子 博智
坂本 圭司、氏家 勇一、清野 義胤
木島 幹博、丸山 幸夫

60 ハチ毒によるアナフィラキシーショック後に、冠攣縮による急性冠症候群を発症した1例

岩手県立二戸病院

○赤坂裕一郎、西山 理、酒井 敏彰
田淵 剛

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

伊藤 智範

岩手医科大学 内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野

中村 元行

第3会場

肺・先天性疾患 (10:52~11:27)

座長 杉村 宏一郎

- 61 肺塞栓症亜急性期に経皮的肺動脈拡張術 (BPA:Balloon pulmonary artery angioplasty) を施行した一例
岩手県立中央病院 初期研修医 ○佐藤 利紀
岩手県立中央病院 循環器科 高橋 徹、大浦 翔子、神津 克也
池田 尚平、野田 一樹、清水 亨
中嶋 壮太、遠藤 秀晃、中村 明浩
野崎 英二
岩手県立胆沢病院 循環器科 八木 卓也
- 62 部分肺静脈灌流異常症と門脈-肝静脈シャントが併存した肺高血圧症の一例
東北大学 循環器内科学 ○三浦 正暢、杉村宏一郎、青木 竜男
建部 俊介、山本 沙織、矢尾板信裕
佐藤 遥、佐藤 公雄、下川 宏明
- 63 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症に対する薬物療法の効果
東北大学 循環器内科学 ○青木 竜男、杉村宏一郎、矢尾板信裕
山本 沙織、三浦 正暢、建部 俊介
後岡広太郎、佐藤 遥、佐藤 公雄
下川 宏明
- 64 高度房室ブロックの精査を契機に発見された不完全型房室中隔欠損症の成人例
米沢市立病院 循環器内科 ○上北 洋徳、渡辺 達也、平 カヤノ
藤野 彰久
米沢市立病院 心臓血管外科 佐藤 洋一
福島県立医科大学 心臓血管外科 若松 大樹
- 65 AMPLATZER Duct Occluder (ADO) による Patent Ductus Arteriosus (PDA) 治療を行った2症例
弘前大学 医学部 循環器呼吸器腎臓内科 ○妹尾麻衣子、西崎 史恵、小路 祥紘
泉山 圭、澁谷 修司、横山 公章
山田 雅大、藤井 裕子、阿部 直樹
富田 泰史、樋熊 拓未、長内 智宏
奥村 謙

第3会場

心筋炎・心筋症 (11:27~12:02)

座長 松井 幹之

66 周産期心筋症の一症例

寿泉堂総合病院

○山田優里子、水上 浩行、出町 順
鈴木 智人、金澤 正晴

67 舌炎を契機に早期診断し得た脚気心の1例

山形大学医学部 第一内科

○青野 智典、宮本 卓也、石垣 大輔
岩山 忠輝、橋本 直明、熊谷 遊
安藤 薫、和根崎真大、舟山 哲
佐々木真太郎、山浦 玄斎、西山 悟史
有本 貴範、高橋 大、穴戸 哲郎
渡邊 哲、久保田 功

68 輸血後たこつぼ型心筋症を生じたと考えられる肺大細胞癌の一例

仙台赤十字病院 呼吸器内科
仙台赤十字病院 循環器内科

○高橋 秀徳、三木 誠
杉村 彰彦、大橋 潤子

69 植込み型補助人工心臓 (VAD) 時代における体外式補助人工心臓装着症例についての検討

東北大学 心臓血管外科

○秋山 正年、河津 聡、片平晋太郎
川本 俊輔、齋木 佳克

70 右心不全および洞停止など多彩な症候を呈した心膜炎合併心筋炎の1例

青森県立中央病院 循環器センター 循環器科

○八木橋 恵、大和田真玄、市川 博章
木村 嘉宏、横田 貴志、今田 篤
藤野 安弘

第4会場

弁膜症 (9:00~9:42)

座長 渡部 朋幸

71 経皮的動脈弁バルーン拡張術が有用であったハイリスク動脈弁狭窄の4例

弘前大学大学院医学研究科 循環呼吸腎臓内科

○米倉 学、樋熊 拓未、小路 祥紘
西崎 史恵、泉山 圭、澁谷 修司
横山 公章、山田 雅大、阿部 直樹
長内 智宏、奥村 謙

72 我が国の動脈弁狭窄症患者の予後規定因子；CHART-2 研究からの報告

東北大学 循環器内科学

○佐藤謙二郎、坂田 泰彦、後岡広太郎
三浦 正暢、牛込 亮一、但木壮一郎
小野瀬剛生、辻 薫菜子、山内 毅
阿部 瑠璃、下川 宏明
東北大学 循環器 EBM 開発学 宮田 敏

73 周術期リハビリテーション介入が必要であった TAVI の一例 ～術前の『Frailty』評価の意義～

東北大学病院 リハビリテーション部

東北大学 循環器内科学

東北大学 心臓血管外科

東北大学 麻酔科学

東北大学 内部障害学

○竹内 雅史、柿花 隆昭、矢口 春木
和地 泰彦、仲富 千瑞、佐藤 房郎
松本 泰治、杉村宏一郎、三浦 正暢
高橋 潤、伊藤 健太、下川 宏明
川本 俊輔、熊谷紀一郎、齋木 佳克
吾妻 俊弘
森 信芳、伊藤 修、上月 正博

74 胃癌を合併した症候性重症動脈弁狭窄症に対する経カテーテル動脈弁留置術の一例

東北大学 循環器内科学

東北大学 心臓血管外科

東北大学 麻酔科

仙台医療センター 循環器内科

○松本 泰治、高橋 潤、杉村宏一郎
三浦 正暢、山本 沙織、下川 宏明
川本 俊輔、熊谷紀一郎、齋木 佳克
吾妻 俊弘
山口 辰寛、篠崎 毅

75 経カテーテル動脈弁留置術後に完全房室ブロックを呈した一症例

東北大学 循環器内科学

東北大学 心臓血管外科

東北大学 麻酔科

みやぎ県南中核病院 循環器科

○佐藤 遥、松本 泰治、杉村宏一郎
矢尾板信裕、山本 沙織、建部 俊介
三浦 正暢、青木 竜男、後岡広太郎
高橋 潤、下川 宏明
熊谷紀一郎、川本 俊輔、齋木 佳克
吾妻 俊弘
小山 二郎、井上 寛一

76 緊急バルーン動脈弁形成(balloon aortic valvoplasty:BAV)を施行した二例

岩手県立中央病院 循環器科

○神津 克也、高橋 徹、大浦 翔子
門間 雄斗、池田 尚平、野田 一樹
中嶋 壮太、遠藤 秀晃、中村 明浩
野崎 英二

第4会場

弁膜症・心膜疾患・心内膜炎 (9:42~10:17)

座長 矢作 浩一

77 当院での経皮的動脈弁植込術の初期 50 例の成績

仙台厚生病院 心臓血管センター 循環器内科

○遠田 佑介、多田 憲生、櫻井 美恵
水谷有克子、桑原 謙典、宮坂 政紀
加畑 充、笈井 宣任、松本 崇
堀江 和紀、伊澤 毅、上村 直
清水 岳久、鈴木 健之、本多 卓
滝澤 要、大友 達志、井上 直人
目黒泰一郎

仙台厚生病院 心臓血管センター 心臓血管外科

山谷 一広、畑 正樹

78 収縮性心膜炎による難治性右心不全症状に対しトルバプタンが有効であった一例

山形県立新庄病院 循環器内科

○橋本 直土、奥山 英伸、結城 孝一
廣野 摂

79 髄膜炎を合併したB群溶連菌による感染性心内膜炎の一例

仙台市立病院 循環器内科

○佐々木恵里奈、小松 寿里、滑川 明男
石田 明彦、三引 義明、山科 順裕
佐藤 弘和、中川 孝、佐藤 英二
八木 哲夫

80 バルサルバ洞動脈瘤破裂合併の心室中隔欠損症を器質とした感染性心内膜炎の1例

青森県立中央病院 循環器センター 循環器科

○加藤 朋、大和田真玄、市川 博章
木村 嘉宏、横田 貴志、今田 篤
藤野 安弘

青森県立中央病院 循環器センター 心臓血管外科

伊藤 校輝、畠山 正治、河原井駿一
永谷 公一

81 シャント感染に感染性心内膜炎を合併し死亡した一例

東北大学病院卒後研修センター

東北大学 循環器内科学

東北大学病院 病院高度救命救急センター

○田中 祥朗、加賀谷 豊
鈴木 秀明、下川 宏明

山内彩記子、久志本成樹

日本循環器学会 男女共同参画フォーラム

(第4会場：3階 白檀2) 10:20~11:50

これからの女性循環器医に 求められること

座長 富岡智子 先生
みやぎ県南中核病院 循環器内科 部長

◇ 講演

1. 「ある循環器内科医の求めるもの」

平鹿総合病院 循環器内科 診療部長

伏見 悦子 先生

2. 「仕事は一緒、相互理解の重要性」

仙台オープン病院 循環器内科 主任部長

加藤 敦 先生

3. 「循環器領域における女性医師の役割とJ-WN I C活動」

済生会横浜市東部病院 心臓血管センター長 循環器内科

塚原 玲子 先生

◇ 質疑応答

◇ 閉会の辞 福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 主任教授

竹石恭知 先生

YIA 審査	10:40~11:15 (1F 小会議室 2)
心肺蘇生法普及委員会	11:30~11:40 (1F 小会議室 1)
総会・YIA 授賞式	12:10~12:40 (第1会場: 2F 橘)

教育セッション I

ランチョンセミナー1 12:50~13:50 (第1会場: 2F 橘)
座長: 東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 下川 宏明 先生

「2型糖尿病治療のめざすこと」

順天堂大学大学院医学研究科 スポーツロジックセンター
センター長 河盛 隆造 先生

共催: 第159回日本循環器学会東北地方会
アストラゼネカ株式会社

教育セッション II

ランチョンセミナー2 12:50~13:50 (第2会場: 2F 萩)
座長: 山形大学 内科学第一講座 教授 久保田 功 先生

「小児・若年者の遺伝性不整脈」

埼玉医科大学 国際医療センター 小児心臓科
教授 住友 直方 先生

共催: 第159回日本循環器学会東北地方会
第一三共株式会社

教育セッション III

特別講演 13:50~14:50 (第1会場: 2F 橘)
座長: 福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 教授 竹石 恭知 先生

「The roles of degradation systems in failing hearts」
Cardiovascular Division, King's College London, The James Black Centre
教授 大津 欣也 先生

共催: 第159回日本循環器学会東北地方会
帝人ファーマ株式会社

DVD セッション

「医療安全・医療倫理に関する講演会」

専門医の認定更新に必修の「医療安全・医療倫理に関する研修」に関する2単位を取得できるDVDセッションを開催致します。

3月の日本循環器学会学術総会もしくはインターネットでも視聴できます。

詳細は以下をご覧ください。

<必修研修と単位数>

2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。

専門医認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

(1) 最新医療の知識習得に関する研修・・・30単位以上

日本循環器学会主催の学術集会・地方会（いずれも教育セッションを含む）への参加にて単位を取得してください。

該当の研修単位数・・・本会年次学術集会 10単位、（学術集会時の）教育セッション 5単位、各地方会 5単位、（地方会時の）教育セッション 3単位

(2) 医療安全・医療倫理に関する研修・・・2単位以上

本会学術集会または本会地方会で開催の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加。あるいはインターネットでの視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

単位数・・・（上記どの方法で取得されても）2単位

※同じ研修内容を視聴された場合には重複して単位は加算されませんのでご注意ください。

お問い合わせ先：

（一社）日本循環器学会 専門医制度委員会

TEL：03-5501-0863 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

一般社団法人日本循環器学会東北支部規則

(総則)

第1条 この会は一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という。）と称し、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という。）の支部とする。

(事務局)

第2条 本支部の事務局は、東北大学大学院医学系研究科循環器内科学に置く。

(目的および事業)

第3条 本支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 東北支部における年2回の学術集会（地方会）の開催
- 2) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 3) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての東北支部における講習会等の開催
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 本支部の会員は、勤務先または居住地が日本循環器学会定款施行細則第16条に定める東北地区にある日本循環器学会の会員とする。

2. 本支部に名誉支部員・名誉特別会員を置く。

1) 名誉支部員は年齢65歳以上の会員で、支部評議員を3期以上務めた者とする。
総会に出席して意見を述べるができるが、議決権は有しない。

2) 名誉特別会員は名誉支部員の条件に加え、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者とする。処遇については、名誉支部員に準用する。

(社員の選出)

第5条 日本循環器学会本部からの委託により、本支部にて日本循環器学会の社員を選出する。

2. 選出する社員数は、日本循環器学会から指定された数とする。
3. 選挙権および被選挙権をもつものは、本支部の会員とする。

(支部選挙管理委員会)

第6条 本支部に東北支部選挙管理委員会（以下「選挙管理委員会」という。）を置き、社員選出手続きを担当する。

2. 選挙管理委員会の委員長は、支部監事または支部幹事から選出し、支部総会で選任する。
3. 選挙管理委員は、会員から選出し、支部総会で選任する。
4. 選挙管理委員長は、選挙結果を支部総会および日本循環器学会に報告する。

(社員選出方法)

第7条 第6条に定める社員は、第4条に定める会員の無記名投票により選出する。

2. 会員一人につき、一個の投票権とする。
3. 各都道府県毎の最多得票者を当選者として選出した後、全地区を対象として得票数の多い順から、第5条第2項に定める選出すべき数までを当選者とする。

(社員の補充)

第8条 日本循環器学会から社員補充の依頼があった場合は、選挙管理委員会が直前の選挙結果に基づき得票数の多い順から補充すべき数までを社員として補充する。

2. 前項の規程に関わらず、前条第3項の都道府県条件を満たさない場合には、その条件を優先して補充する。

(支部評議員)

第9条 本支部に支部評議員若干名を置くことができる。

2. 支部評議員は、下記の規則に基づいて会員から選出し、支部総会で選任する。
3. 支部評議員の選出・辞職についての規程は、別に定める。
 - 1) 支部評議員の推薦を希望する者は、推薦理由と推薦される者の略歴を支部長に提出する。推薦の資格を有する者は本支部の日本循環器学会社員とする。
 - 2) 任期途中で支部評議員の辞職を希望する者は、理由を記した書面を支部長に提出する。
 - 3) 支部評議員の辞職および推薦は、支部総会の同意を必要とする。
4. 支部評議員は、総会を組織し、支部長の求めに応じて支部の運営についての諮問を行う。
5. 支部評議員の任期は4年とし、再任はさまたげない。役員に欠員が生じた場合は速やかに補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(支部長)

第10条 本支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は日本循環器学会理事から選出し、支部総会において選任する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期および定年については、日本循環器学会定款および定款施行細則に準ずる。

(支部幹事)

第11条 本支部に支部幹事若干名を置く。

2. 支部幹事は会員から支部総会において選任する。
3. 支部幹事は支部長を補佐し、支部運営にあたる。
4. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部監事)

第12条 本支部に支部監事若干名を置く。

2. 支部監事は会員から支部総会において選任する。
3. 支部監事は支部の事業および会計について監査を行い、不正の事実があれば支部総会あるいは日本循環器学会に報告する。
4. 支部監事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(地方会会長)

第13条 本支部に地方会会長1名を置く。

2. 地方会会長は会員から支部総会において選任する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理および事業内容を支部長に報告する。
4. 地方会会長の任期は、直前の地方会終了日の翌日から主催地方会終了日までとする。

(支部総会)

第 14 条 支部総会は、日本循環器学会の社員および支部で選出した支部評議員で構成する。

2. 支部総会は年 1 回以上開催し、以下の事項を審議する。
 - 1) 地方会会長の選出
 - 2) 地方会開催地の決定
 - 3) 支部事業計画および事業報告
 - 4) 社員および支部評議員の選出
 - 5) 本会規則の変更
 - 6) その他本会の運営に必要な事項
3. 支部総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは、支部監事が招集する。この場合、議長は支部総会議員の互選により選出する。
4. 支部総会は、支部総会議員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(運営資金)

第 15 条 この支部の運営には次の資金を充てる。

- 1) 本部から助成される運営費
- 2) 地方会参加費
- 3) 事業に伴う収入
- 4) 寄付金
- 5) その他収入

(会計年度)

第 16 条 この支部の会計年度は、日本循環器学会定款に準ずる。

附則

- 1) この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2) 学術集會に演題を提出する者は原則として日本循環器学会に入会しなければならない。ただし支部長が許可した場合はその限りではない。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設ける。
2. 本会則は平成21年2月14日に開催される第147回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授6名と大会長が選出する6名の選考委員の計12名で構成される。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の6名の選考委員については大会長が再度選出する。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award (東北地方会 YIA) 演題応募要領

趣 旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下の方。
東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に 1 施設 2 題 (ただし 1 科 1 演題) までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

会長奨励賞

YIA 希望演題の内、一般病院の演題から 1 題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

賞

部門毎に最優秀賞 1 名 (賞金 10 万円) および優秀賞若干名 (賞金 5 万円) と表彰状。同点の場合は要検討とする。

会長奨励賞は 1 名 (賞金 5 万円と表彰状)。

締 切

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

第 159 回日本循環器学会東北地方会 YIA 審査員（敬称略）

青森

弘前大学 循環呼吸腎臓内科学講座
青森県立中央病院 循環器センター

教授 奥村 謙
センター長 藤野 安弘

岩手

岩手医科大学 心血管・腎・内分泌内科分野
盛岡赤十字病院

教授 中村 元行
副院長 市川 隆

秋田

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学
市立秋田総合病院

教授 伊藤 宏
内科診療部長 中川 正康

山形

山形大学 内科学第一講座
篠田総合病院 循環器科

教授 久保田 功
医長 池田 こずえ

宮城

東北大学 循環器内科学
国立病院機構仙台医療センター 循環器内科

教授 下川 宏明
部長 篠崎 毅

福島

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
大原総合病院

教授 竹石 恭知
副院長 石橋 敏幸

日本循環器学会東北支部役員(平成 26 年 9 月 1 日現在)

支部長	下川 宏明				
理事	下川 宏明	伊藤 宏			
名誉特別会員	白土 邦男 丸山 幸夫	平 則夫 三浦 傳		平盛 勝彦	
名誉支部員	青木 孝直 伊藤 明一 大和田憲司 金澤 正晴 佐藤 昇一 田中 元直 前原 和平 元村 成毅 渡辺 毅	芦川 紘一 猪岡 英二 小野 幸彦 金塚 完 高橋 恒男 田巻 健治 三浦 幸雄 盛 英機	池田 精宏 今井 潤 小岩 喜郎 齋藤 公男 高松 滋 布川 徹 三国谷 淳 保嶋 実	石出 信正 大友 尚謙 門脇 謙 佐々木 弥 立木 楷 星野 俊一 室井 秀一 山本 文雄	

支部評議員 (各県ごと五十音順、○印は社員)

青森	○ 奥村 謙 福田 幾夫	長内 智宏 藤野 安弘	花田 裕之 森 康宏	平賀 仁
岩手	伊藤 智範 瀬川 郁夫 蒔田 真司	岡林 均 田代 敦 森野 禎浩	○ 小松 隆 中村 元行	佐藤 衛 野崎 英二
秋田	阿部 芳久 齊藤 崇 中川 正康	○ 伊藤 宏 佐藤 匡也 長谷川仁志	飯野 健二 鈴木 泰 ○ 渡邊 博之	小林 政雄 田村 芳一
山形	池田こずえ 金谷 透 菅原 重生 宮脇 洋	○ 池野栄一郎 久保田 功 廣野 摂 ○ 渡邊 哲	石井 邦明 後藤 敏和 福井 昭男	小熊 正樹 貞弘 光章 松井 幹之
宮城	○ 伊藤 健太 上月 正博 坂田 泰彦 柳澤 輝行	○ 伊藤 貞嘉 ³ 小丸 達也 ○ 下川 宏明 山家 智之	井上 直人 ○ 齋木 佳克 ¹ ○ 富岡 智子 ²	加賀谷 豊 西條 芳文 堀内 久徳
福島	石川 和信 ○ 斎藤 富善 ¹ 横山 齊	石橋 敏幸 杉 正文	○ 木島 幹博 竹石 恭知	○ 齋藤 修一 武田 寛人
会計監事	石出 信正	猪岡 英二		
幹事	坂田 泰彦	伊藤 健太	福田 浩二	

1.外科分野 2.女性分野 3.その他の分野

